年間第3主日（主日の福音を中心とする「霊的な読書」）

（一）聖書朗読

マタ4:12-23

イエスはガリラヤに行って、カファルナウムに住まわれた。預言者の言われたことを実現した。異邦人のガリラヤ、暗闇に住む民は大きな光を見、死の影の地に住む者に光が射し込んだ。その時から、イエスは悔い改め、天の国を述べ伝え始められ、さらに病気を癒された。彼は四人の漁師としてのペトロ、アンデレ、ヤコブとヨハネを弟子にしました。彼らは、網を捨て、舟と父親とを残して、イエスに従って、人間を取る漁師にしよう。

（二）カテキズムの響き（カトリック教会のカテキズムの番号；YOUCAT #92、139）

#1989

イエスが宣教を開始するにあたって、悔い改めよ。天の国は近づいたと告げておられる通りです。聖霊の恵みに動かされて、人間は罪から離れて、回心し、ゆるしと義と、内的聖化と一新を神からいただきます。

#858-860, 877-878

イエスは人々を呼び寄せられ、十二使徒を任命されました。彼らは、イエスキリストのご自分の復活の証人、さらに教会の土台になります。使徒たちの任務のうちには、使徒の後継者としての司教たちによって、キリストからいただいた宣教の使命を世の終わりまで継続できます。従って、各司教は、ペトロの後継者であり司教団の頭でもあるローマの教皇と結ばれている司教団の中で、福音宣教についての奉仕職という役務を行使します。教会の役務が一人ひとりの人間にゆだねられているとうことも、その秘跡性（叙階の秘跡）に由来します。

#813-822

教会はその源から一つです。その創立者としてのキリストはひとつです。その魂としての聖霊はひとつです。この一つの教会は、最初からかなりの多様性を表しています。旅する教会の一致はカトリック教会という共通の見える絆によって、保証されています。そのために、カトリック教会の信徒は、教会の完全な交わりから分かれた諸教会、諸教派との対話、協力、礼拝、相互理解などによって、キリストの一致を回復し、心からの回心と刷新ができるよう努力すべきである。

（三）カテキズムの学び（『コンペンディウム』カテキズム要約の番号）

#161-162 教会は唯一であり、使徒的である：

、175 その起源は三位のペルソナにおける唯一の神の単一性にあるからである。使徒的では、キリストがこの世に設立され組織は、ペトロの後継者、及び彼との交わりの中にある司教たちとによって統治されるカトリック教会の中に存在します。使徒はキリストによって遣わされ者、さらにキリストの復活の選ばれた証人として、キリストの教会の土台となるものである。

#163-164 カトリック教会の信徒は、諸教会や諸教会の共同体との協力と対話によって、全エキュメニカル運動の精神をもって、キリスト教の一致への努力を促すべきである。

結語／祈り：キリスト教の一致のための共同祈願（2014年『キリスト教一致祈祷週間』の参考）